

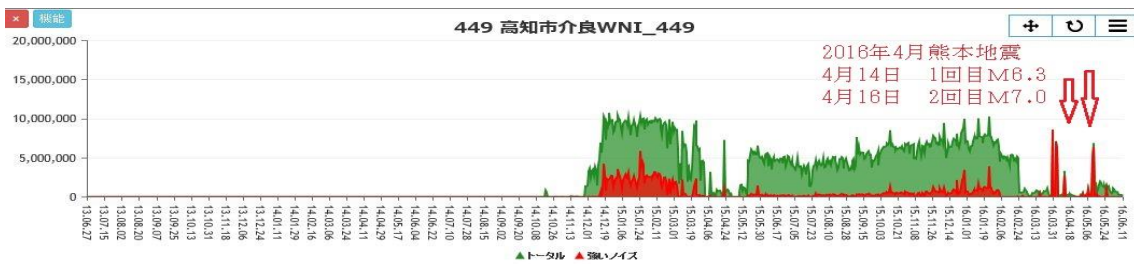
160414,16 熊本地震 (M6.3 と 7.0) と今回 2021 年 5 月までの高知市介良のデータの比較



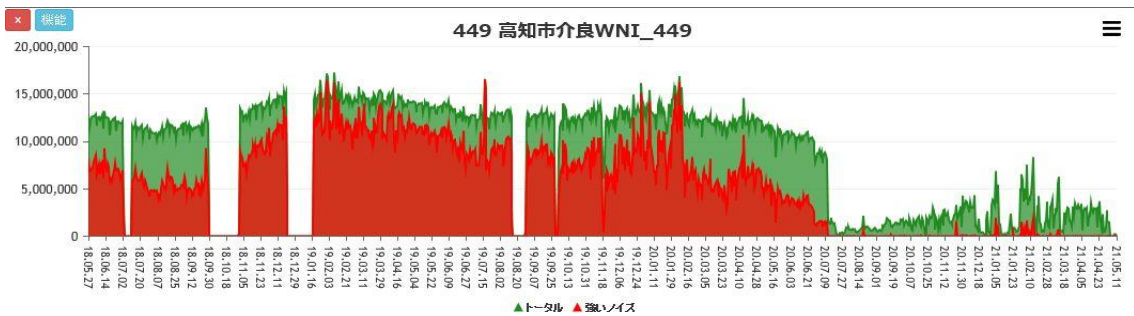
今回 2021 年 5 月の段階で、高知市介良の長期につづいた大型データが収束してきています。このデータの前の収束は 2016 年 4 月で、そのときは熊本地震 M6.3, M7.0 が発生しました。今回のデータは同じ観測点の長期データで、よく似た点もありますが、比較してみたところ、前回より 1 回り大きなデータになっています。このデータの長さ、大きさだけを単純に比較して、この先に来るべき地震の規模を推察することはできません。しかし予想される地震の規模は、データの長さ、大きさ、観測点から震源までの距離などを考え併せて、だいたい想定するほかありません。

以下に、熊本地震の前兆としてのデータと今回のデータの比較を載せますが、今回来るべき地震は熊本地震より大きく長いデータが出ており、少なくとも熊本地震の M7.0 と同等かそれ以上の規模か、あるいはそれよりもかなり大きくなる可能性があります。

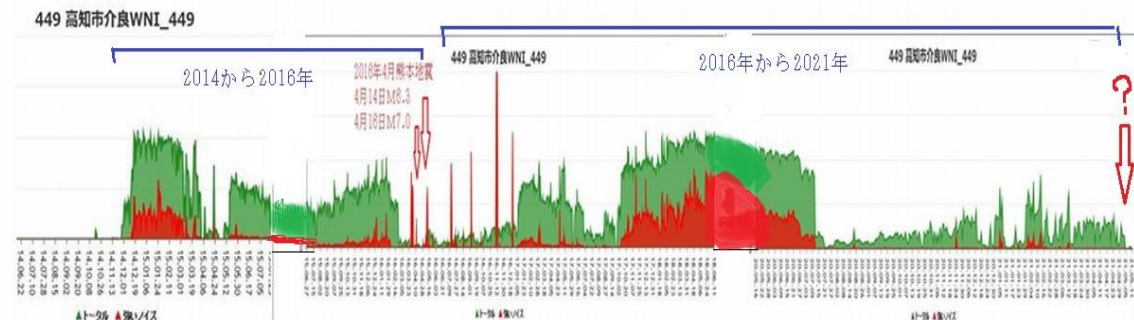
160414,16 熊本地震 M6.3, M7.0 の場合 > 2016 年 4 月まで 1080 日 (3 年) 間データ



今回 2021 年 > 1080 日 (3 年) 間データ



前半 > 2016 年 4 月まで 後半 > 今回 2021 年 5 月まで



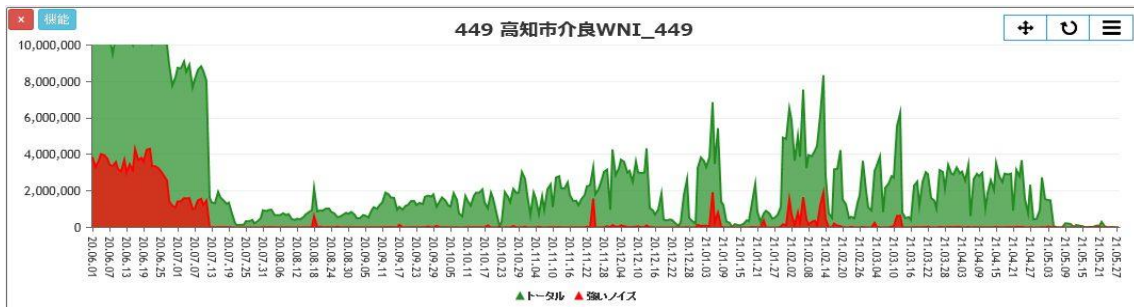
2016年4月まで3年間データ



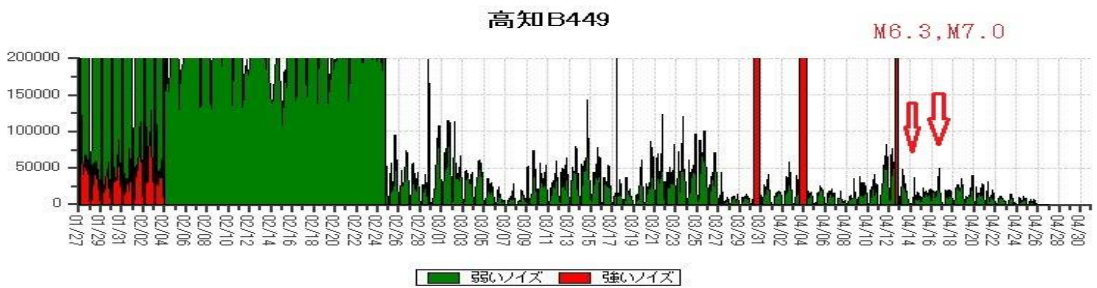
2016,04,16の360日間データ



2021,05,27までの360日間データ



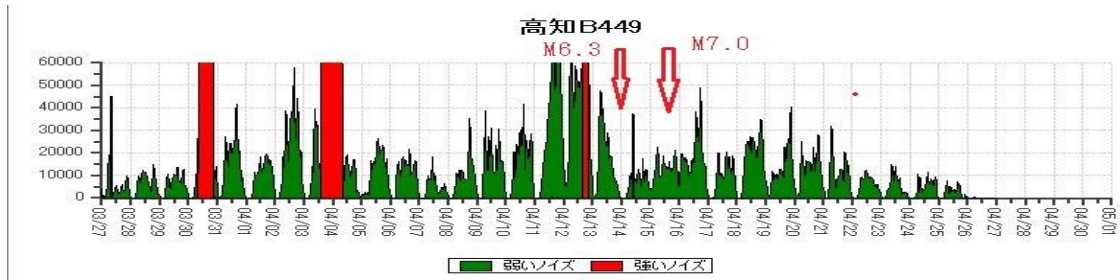
2016年4月の熊本地震の発震時のデータ >90日間データ



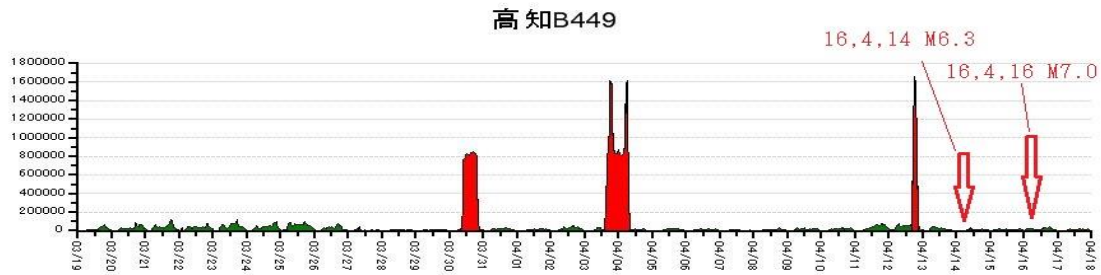
2021年 90日間データ



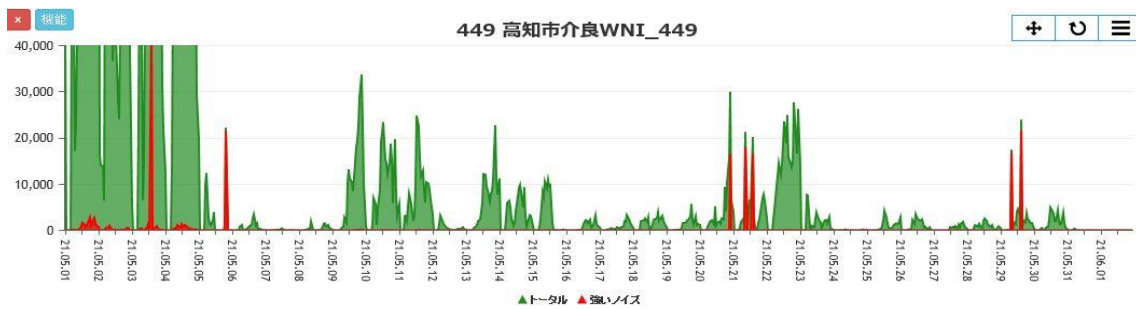
2016年 30日間データ



15日間データ>直前の真っ赤な1本立ち>2016,4,14 MAX 80万~160万



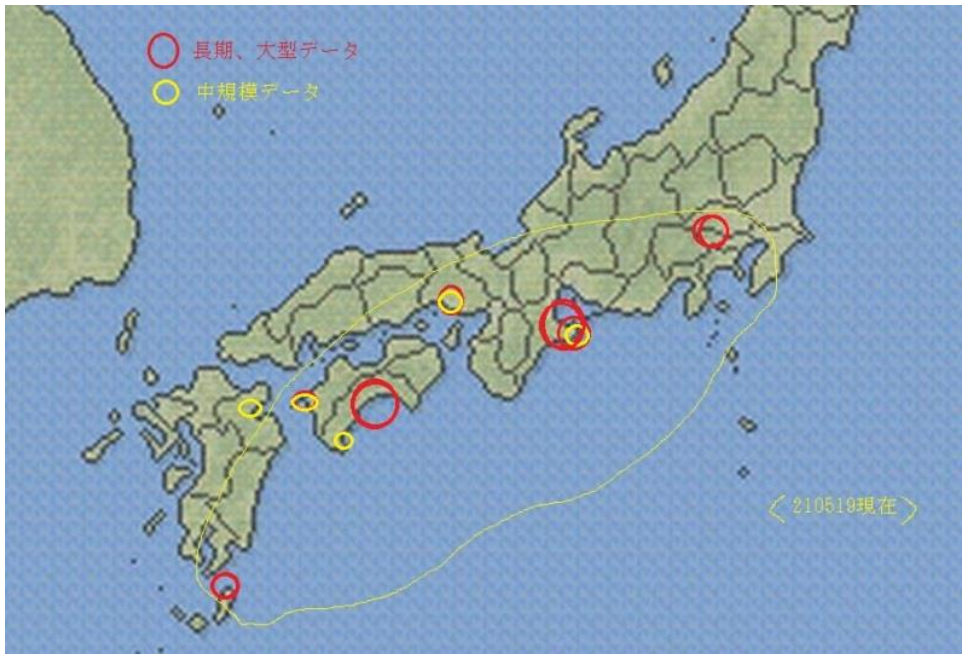
2021年 30日間データ>2021,5,31 MAX 2万前後



位置関係 その1 2016年







<考察>

2016年4月の熊本地震M7.0の前兆としてのデータと今回2021年5月までのデータを比較してみると、大変良く似たデータが見られます。また今回は熊本地震の前兆としたデータよりも、ずっと大きく長いデータが出ています。このデータから考えると、少なくとも熊本地震のM7.0以上の規模か、それよりもかなり大きくなる可能性があります。ただし熊本地震の直前には、MAX80万~160万という大きな真っ赤な1本立ちが3本出ています。今回も直前と思われる真っ赤な1本立ちが数本出ていますがMAX値は2万前後で前回よりはずっと小さいものです。ただこの理由は不明です。

また、ここには高知市介良の観測点のデータだけを載せていますが、周囲の同期したデータでは、前回は広島や北九州の観測点が同じように大きなデータを出していましたが、今回は伊勢のE481とD484、神戸市灘区のデータが同期しています。

従って今回の震源は、前回の九州よりも東側になる可能性が高く、伊勢のE481のデータが期間は短いながらかなり大きいことから四国と紀伊半島の周囲が震源になる可能性が高いと思われます。このような状況からみて暫定的に以下のように予想します。

<関西大地震の予想 210531 現在>

地震の規模：M7クラス

想定される震源：紀伊水道、和歌山周辺

発震予想日：6月1日~4日程度

5月17日の臨時メール以降、なんども注意をお伝えしていますが もうしばらく、今週いっぱい位の間、さらなる注意をお願いします。